

道

2017年4月

小田川／宮田橋

Nさん。お体いかがでしょう。小学校の同窓会に欠席の葉書をいただきました。その丁寧なメッセージ文の一字一字に感じるものがあった、こうしてお便りしています。

あの頃、あなたの描いた絵に感動したり、運動会で踊るあなたをそっと眺めていたりしたようなことがふと懐かしく思い出されます。

僕はというと、気弱でぼーっとしていた子ども時代でした。その後、劣等感と情熱のようなものが入り混じり何が何か分からないように過ぎた「青春」と呼ばれる時代がありました。そして更にいろいろあって、あちこち転々とし、京都で定年を迎えます。真備に戻ってきて四年。この地が僕を少し受け入れてくれていたのかと感ずることがあります。

私たちは、いろんな「老い」を感じることがあります。私たちは、半面それに反発する気持ちもあります。 「いつまでも元気に活躍する」というようなことは少しづつ叶わなくなっていくますよね。今、今を大切に、できることなら楽しく、生きたいものです。しかしどうも、じたばた、どたどた、ぐずぐず、ゆらゆら、生きていくのが僕のようにです。

あなたのやさしく聴こえる声を励みにして。

〒710-1301

岡山県倉敷市真備町箭田 5188

090-5366-1497

michi-care@outlook.jp

<https://michi-care.jimdo.com>



林道也



※今後も配信をご希望の方はお知らせ願います（すでに承っている方は不要です）